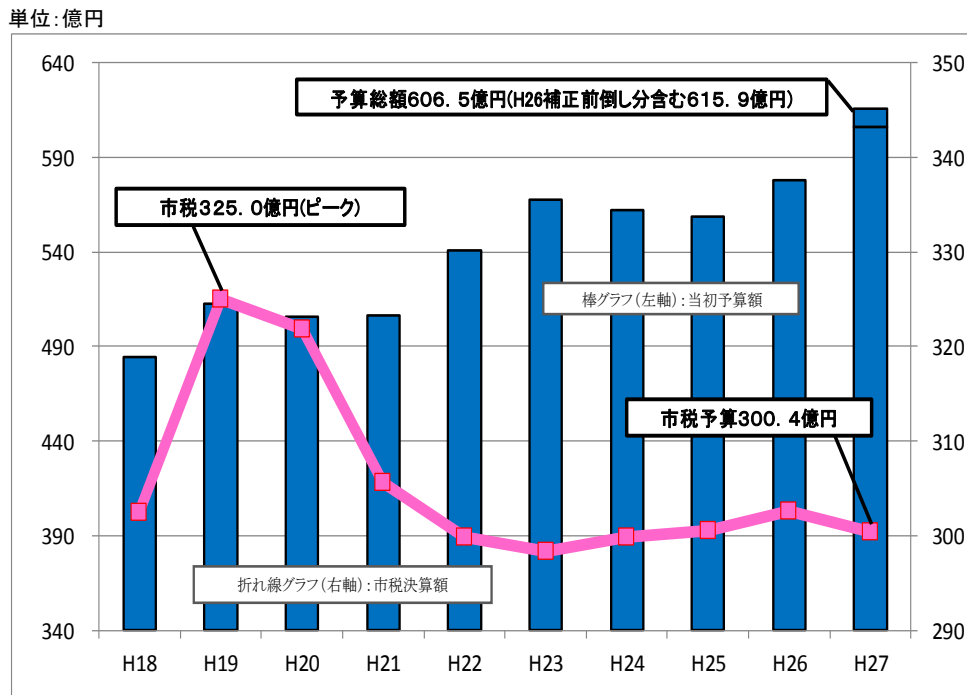




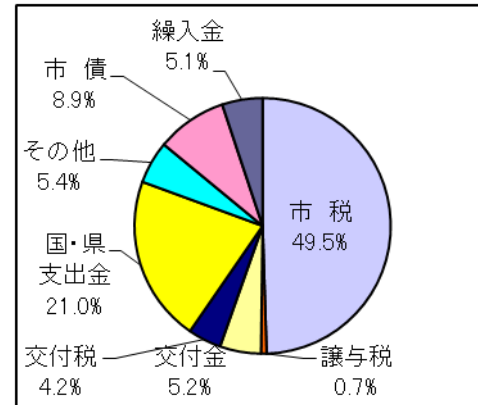
平成27年度予算のポイント ~予算規模~

- 一般会計の予算規模は**606.5億円**とし**過去最大**（前年度比+28.8億円[+5.0%]）
- 国の補正予算の活用に伴い平成26年度に前倒した事業費を含めた**実質的な予算規模は615.9億円**（前年度比+38.2億円[+6.5%]）

■ 予算規模の推移

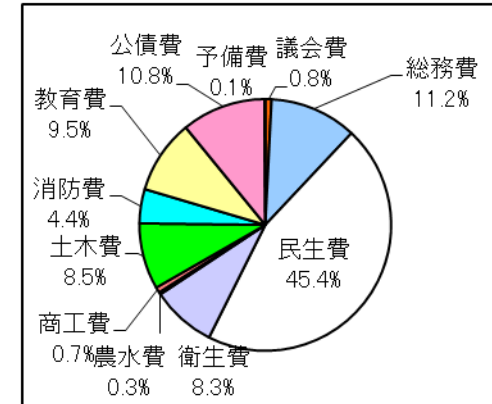


■ 歳入の構成



- 税制改正に伴う法人市民税の税率引下げ等による市税の減(▲2.2億円)
- 平成26年4月からの消費税率の引上げに伴い、半年遅れで交付される地方消費税交付金の増(+6.0億円)
- 上尾中学校校舎改築事業の本格化等に伴う市債の増(+7.6億円)
- 財源不足額の増加に対応するため基金繰入金の増(+9.4億円)

■ 歳出の構成



- (仮)原市保育所複合施設建設の本格化及び子ども・子育て支援新制度に伴う民間保育所等への負担金の増加による民生費の増(+8.3億円)
- 境橋及び吉野橋の整備による土木費の増(+9.0億円)
- 消防救急無線のデジタル化の完了による消防費の減(▲3.5億円)
- 上尾中学校校舎改築事業の本格化による教育費の増(+11.7億円)

(参考) 扶助費決算額の推移

74	81	88	93	129	137	141	143	152	159
----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

※H26・H27の市税・扶助費は当初予算額を表示



平成27年度予算のポイント ～基本方針～

- 平成26年9月、予算編成の方向性を示す「平成27年度3か年・予算編成における基本方針」を策定
- 平成27年度予算においては、上記方針を踏まえつつ、「子どもから高齢者まで すべてにやさしい 思いやり市政」の実現に向け、**6分野に重点**をおいた予算を編成

■ 予算編成における基本方針

今後対応すべき諸課題

- 全国や首都圏平均を上回る高齢化に伴う社会保障関係経費の増加
- 全国平均を上回る生産年齢人口の減に伴う市税収入の減少
- 人口急増期に一齐に整備した公共施設やインフラの大量更新問題への対応

4つの取組方針

- 上尾らしさを生かした施策の実現
- 市長マニフェストの具現化
- 行政評価に基づく取組み
- 第7次行革大綱・実施計画の目標達成に向けた取組み



■ 予算のポイント(6分野に重点)

1 あげおの魅力を再発見・地域消費の喚起

⇒30%のプレミアム付商品券を総額10.4億円発行、シティセールスを推進、農商工観ポータルサイト運営を強化

2 待機児童ゼロをめざし、子育て支援を強化

⇒(仮)原市保育所複合施設建設の本格化、子ども・子育て支援新制度に伴い補助金を大幅拡充、初の認定こども園と2か所の民間認可保育所が開設

3 もっと住みよいまちへ、安全・安心を確保

⇒地域集会所全107か所を対象にAED配備、上尾中学校校舎改築工事の本格化、文化センター耐震化に向けた設計、振り込め詐欺防止

4 次代を担う子どもの育成、教育環境を充実

⇒大石北小学童保育所新築、特別支援学級を小学校全校設置、生活保護世帯等の生徒への学習支援、(仮)中央図書館整備に向けた設計

5 障害者の自立を支援・介護予防事業を拡充

⇒生活サポート事業に多子軽減制度を導入、障害者就労施設の製品販売を支援、アッピー元気体操の会場を増設・補助制度創設

6 市民の健康づくりをサポート

⇒新たにウォーキング教室を開催、骨粗しょう症検診の対象年齢を拡充、自転車レーンの整備、(仮)戸崎東部公園整備に向けた設計



平成27年度予算のポイント ～重点事業1～

◆あげおの魅力^{魅力}を再発見・地域消費^{消費}の喚起

～ 過去最高のプレミアム(30%)が付いた商品券を発行、上尾市・本宮市のゆるキャラ夫婦に二世誕生か?!(全国初) ～

☆印は、国の補正予算を活用するため、平成27年度当初予算で予定していた事業を平成26年度3月補正予算に前倒し計上するもの

新規

プレミアム付アッピースマイル商品券を発行☆ 2億6,900万円

○国の補正予算を活用し、地域消費を喚起・地域経済を活性化

<商品券の概要>

- プレミアム率30%、発行総額10.4億円
- 1,000円×13枚綴りを1万円で発行

新規 シティセールスを推進☆ 406万円

- ふるさとあげおPR大使の任命
当市にゆかりのある著名人を想定。乞うご期待!
- プロモーションムービー制作
住みたくなるをコンセプトに制作し、住宅展示場等で放映
- あげおえがおミーティング
働く母親・大学生から市のPRポイントを収集
- 電車内広告掲載
通勤等の直前(2月)の1週間、高崎線・宇都宮線などの車両に広告を掲載

拡充 農商工観ポータルサイト運営を強化☆ 291万円

- 平成26年度末に開設予定の市内産業の総合サイトを充実・強化
- ビジネスサポート情報をはじめ、店舗の口コミ情報、アクセスランキングなど内容の充実

拡充 上尾市・本宮市友好交流 266万円

- イメージキャラクター
アッピー上尾市♥まゆみちゃん本宮市
- 昨年、ゆるキャラ同士で初の結婚
- 妊娠の兆候、秋頃二世誕生か?!

私たち結婚しました♪



継続 給付金の継続支給 4億2,861万円

<臨時福祉給付金>

H27.1.1市民税均等割非課税者1人につき 6,000円(H26:10,000円)

<子育て世帯臨時特例給付金>

H27.6児童手当受給者の対象児童1人につき 3,000円(H26:10,000円)

新規 ふるさとあげお応援事業 387万円

- ふるさと納税制度を強化
- 市のPRにつながるお礼品を送付
- 平成27年夏頃に開始予定





平成27年度予算のポイント ～重点事業2～

◆待機児童ゼロをめざし、子育て支援を強化

～ (仮)原市保育所複合施設の建設、民間認可保育所など3か所開設、子ども・子育て支援新制度に伴う大幅充実 ～

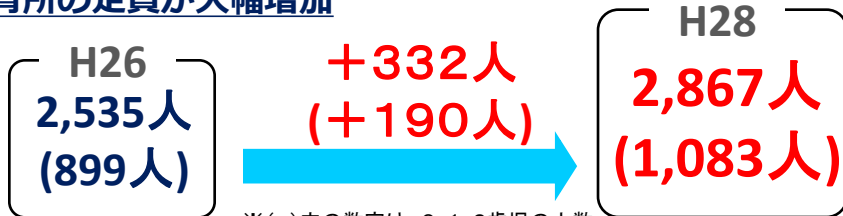
☆印は、国の補正予算を活用するため、平成27年度当初予算で予定していた事業を平成26年度3月補正予算に前倒し計上するもの

新規 市立原市・原市団地保育所の移転統合 3億556万円
 (H27-28継続費、待機児童が多い0歳児クラスを新たに確保)
 平成28年度開設へ
 民間認可保育所の新設支援(2か所) 2億2,014万円

新規 民間認可保育所等への負担金を拡充 4億9,750万円
 民間認可保育所等への運営費補助を新設☆ 2,840万円
 市内の全家庭保育室が地域型保育へ移行 3億8,862万円

拡充 地域子育て支援拠点を増設、開設日数を拡充 525万円

保育所の定員が大幅増加



※()内の数字は、0・1・2歳児の人数

(参考) 当市の待機児童数

平成26年4月1日時点の待機児童数 28人
 うち0～2歳児 28人

H27 H26比較+232人

名称	定員
しのめキッズパーク保育園	90(39)
つつみの森認定こども園	60(24)
プリスクレール・ディゾ・アンジェ	52(25)
その他定員増する保育所など	30(24)
H27増減	232(112)

※定員の()内の数字は 0・1・2歳児の人数

H28 H27比較+100人

名称	定員
(仮)原市保育所	120(45)
[現原市保育所・現原市団地保育所]	[130(25)]
(仮)スターファーム第2保育園	60(27)
(仮)こどもの園プラムハウス分園	20(20)
その他定員増する保育所など	30(11)
H28増減	100(78)

保育所の質の改善



※子ども・子育て支援新制度に伴い

家庭保育室(認可外)が地域型保育(認可)へ
 市内全14か所(定員238人)

1人当たりの平均保育料(月額)



+2,160万円

家庭保育室1か所当たりの平均額



市独自! H27 運営費補助を新設

- ・遠足の実施を支援
- ・障がい児保育を支援
- ・保育と小学校の連携、教育的要素を取り入れた保育への支援
- ・アレルギー給食の対応を支援

地域子育て支援 拠点の充実

- ・瓦葺地内初の拠点(出張型)
- ・あすなる 週3日型⇒週5日型





平成27年度予算のポイント ～重点事業3～

◆もっと住みよいまちへ、安全・安心を確保

～ 市内の地域集会所(全107か所)を対象にAEDを配備、市内循環バスぐるっとくんのダイヤ・コースを再編 ～

☆印は、国の補正予算を活用するため、平成27年度当初予算で予定していた事業を平成26年度3月補正予算に前倒し計上するもの

新規 地域集会所(全107か所)を対象にAEDを配備 497万円

※初年度のため半年間のみリース料

○安心な地域コミュニティづくりを支援



新規 振り込め詐欺シャットアウトプロジェクト 645万円

○通話録音装置 200台を無償貸与(公募)

(対象)65歳以上の高齢独居世帯、高齢者夫婦世帯、日中高齢者のみとなる世帯など

○当市の被害状況

県内ワースト5位で27件・被害額6,100万円



新規 スズメバチ駆除費用を補助 120万円

○市民負担を軽減

○駆除費用の一部補助を実施
◆補助率1/2(5,000円限度)

新規 ぐるっとくん再編 1,080万円

ダイヤ・コース改定のポイント

平成27年10月改定予定



- 1.民間路線バスとのネットワーク ◆バスロケーションシステム導入☆149万円
- 2.シンプルでわかりやすい路線 ・携帯端末でバスの位置を確認
- 3.長大路線→コンパクトな路線設定 ・バス待ちの不安等を解消

公共施設の耐震化

継続

上尾中学校校舎改築事業の終了 19億7,258万円

(うち3月補正前倒し分☆ 5億8,684万円)

⇒市内すべての小・中学校の耐震化完了

新規

あたご保育所、市庁舎第三別館の耐震工事 2億2,218万円

⇒あたご保育所の耐震化は2か年で完了(平成27年～28年)

新規

文化センターの耐震化に向けた設計に着手 8,016万円

⇒耐震化に合わせリニューアル工事を実施予定

施設	平成27年度	平成28年度(概算)	平成29年度(概算)
上尾中学校 ※	19億7,258万円	—	—
市庁舎第三別館	1億8,528万円	—	—
あたご保育所	3,690万円	1億4,770万円	—
文化センター	8,016万円(設計)	16億円(工事)	7億円(工事)

※平成26年度3月補正への前倒し事業費を含む



上尾中学校完成後イメージ



文化センター



平成27年度予算のポイント ～重点事業4～

◆次代を担う子どもたちの育成、教育環境の充実

～ 大石北小学童保育所の移転新築、生活保護世帯等の生徒に学習支援、すべての小学校に特別支援学級を設置 ～

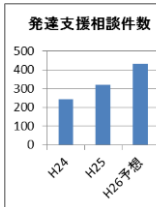
新規 学童保育所の整備 1億271万円

- 新たに大石北小学童保育所を整備(木造2階建・延床290㎡)
- 大石北小学校敷地内に移転⇒安心・安全を確保
- 平方北小学童保育所の新設に向けた設計 ⇒ 1学校区1学童達成へ

新規 生活保護世帯等の生徒に学習支援を実施 872万円

- 平成26年度末での県事業の終了を受け、市独自で実施
対象：中学生47名、高校生46名(平成27年2月1日現在)
- H26: 1か所(県事業) ⇒ H27: 2か所予定(市独自事業)
(浅間台、平塚地内)

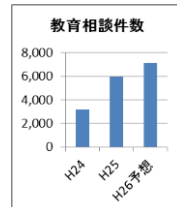
拡充 相談体制の強化 1,586万円



親子教室を拡充
+4学級 +50名増

11学級

15学級



教育相談員を増員

4人 ⇒ 5人体制

新規 (仮)中央図書館の整備 4,016万円

○H27 基本設計に着手

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
基本設計	実施設計	用地買収 建設工事	建設工事	建設工事 オープン(予定)

継続 小学校の特別支援学級を整備 4,520万円

- 平成27年度は6校を整備 ⇒整備率100%へ(県内8市)
- 平成28年4月から全校で特別支援学級での授業が可能

拡充 学力向上をめざしデジタル教科書を改訂 4,043万円

- 大型モニタ整備率100%は県内2市のみ
- 教科書改訂に合わせてデジタル教科書をリニューアル



新規 いじめ根絶対策を強化 50万円

- インターネットパトロールを開始し、いじめを未然に防ぐ

ネットパトロール業者

- Twitter、YouTube、学校裏サイトの監視(1日1回～月1回)
- リスクレベル(低・中・高)により、監視追跡調査を変える。

↓ 監視状況を報告

上尾市教育委員会

- 監視状況報告書の受取り、精査
- リスクレベル(低・中・高)により、学校へメールや電話で情報提供、危険度が高い場合は面談

↑ 情報提供 ↓ 指導状況を報告

学校

- 生徒指導体制の確立
- 生徒に直接指導(保護者・児童生徒と面談を実施)

連絡

↑ ↓

相談

保護者

- 削除依頼、関係機関へ相談
- 子へ指導



平成27年度予算のポイント ～重点事業5～

◆ 障害者の自立を支援・介護予防事業を拡充

～ 障害児(者)の生活サポート事業に多子軽減制度を導入、介護予防事業のコースを大幅に拡充 ～

☆印は、国の補正予算を活用するため、平成27年度当初予算で予定していた事業を平成26年度3月補正予算に前倒し計上するもの

新規 障害児(者)生活サポート事業に多子軽減制度導入 86万円

- 一時預かり、送迎、外出介護等の生活サポート事業の利用者が増加
- 在宅の心身障害児(者)の地域生活を支援するため、多子軽減制度を導入

拡充 介護予防事業の拡充【介護特会】 3,096万円

H26
運動コース
メニュー 20コース
定員 375人

コース+18
定員+280人



H27
(新設コース)
・スポーツ吹矢、粘土クラフト
メニュー 38コース
定員 655人

新規 障害者就労施設に専門家を派遣☆ 100万円

- 障害者就労施設の製品販売を促進
- 上尾商工会議所アブセックから専門家を派遣(2か年)
 - <1年目>販路分析、品質向上、作業の効率化
 - <2年目>販路拡大、商品開発、運営管理の定着

収益性の向上

+

工賃の向上



障害者の自立へ



拡充 アッピー元気体操の充実【介護特会】 1,944万円

H26
会場数 75会場
ボランティア
リーダー 380人

会場数+4
リーダー+60人



H27
(新設)
・冷暖房費相当額を補助
・体力測定結果をフィードバック
会場数 79会場
ボランティアリーダー 440人





平成27年度予算のポイント ～重点事業6～

◆市民の健康づくりをサポート

～ 高齢者の健康づくりのためウォーキング教室を開催、血管年齢測定器を本庁舎・東西保健センターに配備 ～

新規

健康ライフ応援事業にウォーキング教室を新設 71万円【介護特会】

○健康寿命の延伸を目的に平成25年度より段階的に実施

○H27新設⇒ウォーキング教室 (30名予定)

(参考)
H24～ジョギング教室
【一般会計】
H26～サイクリング教室
【一般会計】



新規

生活習慣病重症化予防 1,804万円【国保特会】

○県・国保連とのモデル事業

○糖尿病重症化リスクの高い被保険者に対し以下の取組みを実施

- ・医療機関受診勧奨
- ・生活指導プログラム

・人工透析になると週3回(1回4～5時間)の通院

	人工透析前	人工透析後
医療費	約50万円/人・年	約500万円/人・年

新規

(仮)戸崎東部公園の整備 5,137万円

○戸崎東部公共残土埋立地内にパークゴルフ施設等を整備へ

○公園の実設計・鴨川側道の測量に着手

平成27年度	平成28年度	平成29年度
実施設計	用地買収 整備工事	整備工事 一部供用開始予定

拡充

高齢者の骨粗しょう症検診の拡充 1,465万円

○健康寿命の延伸のため重要な検診、骨量は40歳半ばから急激に減少

[検診対象年齢]

<H26>20,25,30,35,40,45,50,55,60,65,70歳の女性

<H27>40,45,50,55,60,63,65,68,70歳の女性

新規

血管年齢測定器 34万円

※リースによる配備

○指先を置くだけで測定、血管の年齢・老化度を表示

○市役所、東・西保健センターに計3台配備

継続

自転車レーンの整備 1,188万円

○健康増進と省エネ推進を両立

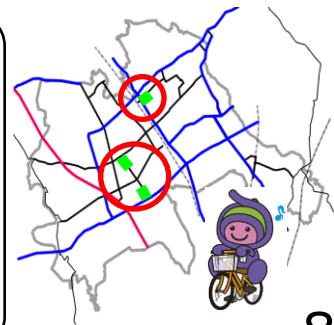
○市総合計画において「自転車のまちづくり」の推進を位置づけ(H25～)

○1.0Km 中新井小泉線の一部
緑丘南線(北上尾PAPA前)

<過去の実績>

H25: 1.2Km(上尾平方線整備済)

H26: 1.0Km(中新井小泉線一部整備済)





平成27年度予算のポイント ～特別会計・企業会計～

- 特別会計及び企業会計の予算規模は**541.6億円**とし**過去最大**（前年度比+39.1億円[+7.8%]）
- 一般会計と特別会計及び企業会計を合わせた全会計の予算総額は**1,148.1億円**となり**過去最大**（前年度比+67.9億円[+6.3%]）

■特別会計・企業会計予算の概要

単位：億円、%

区 分		平成27年度 予算額 A	平成26年度 予算額 B	比較 (A-B) C	増減率 C/B×100
特 別 会 計	国民健康保険会計	273.3	244.9	28.4	11.6
	公共下水道事業会計	51.3	48.3	3.0	6.2
	介護保険会計	128.0	120.8	7.3	6.0
	後期高齢者医療会計	22.8	21.9	0.8	3.7
企業会計	水道事業会計	66.2	66.6	▲0.4	▲0.7
特別会計・企業会計小計		541.6	502.5	39.1	7.8
(参考) 一般会計		606.5	577.7	28.8	5.0
合 計		1148.1	1080.2	67.9	6.3

【特別会計及び企業会計の特徴】

<国民健康保険会計>

- 保険財政共同安定化事業の対象拡大に伴う共同事業拠出金の増
+27.4億円

<公共下水道事業会計>

- 荒川左岸南部流域下水道負担金の増 +1.6億円
- 公共下水道管渠整備事業の増 +0.9億円

<介護保険会計>

- 高齢化等による介護サービス利用の増加に伴う保険給付費の増
+6.9億円

<後期高齢者医療会計>

- 後期高齢者数の増加に伴う保険料納付金の増 +0.8億円

<水道事業会計>

- 配水管網整備の減 ▲0.5億円

※億円単位でまとめているため、比較欄及び増減率欄は表上の計算と一致していない